



7/12・13

第69回S高祭が開催されました

今年で69回目となる標茶高校（生田仁志校長）の学校祭が開催されました。パレードでは標茶駅前の通りを標茶音頭で練り歩き、農業者トレーニングセンターで行われたアトラクションでは、各クラスで練習を重ねたダンスを披露しました。



7/27

子どもの夢を育てるまつりが開催

第25回子どもの夢を育てるまつり（同実行委員会主催）が駒ヶ丘公園内特設会場で行われました。1,000個のアヒルから当たり付きのアヒルを見つけ出す「当たりアヒル探し」では、スタートの合図とともに子どもたちが一斉にアヒル人形を拾い、当たり人形を探していました。会場ではペットボトルロケット飛ばし大会やミニ消防車・ミニSLの試乗、ダンボール迷路などさまざまな遊びを楽しむ子どもたちで賑わっていました。



7/27

地域のチカラで犯罪・非行を防止

社会を明るくする運動の街頭啓発が子どもの夢を育てるまつり会場内で行われました。会場では来場者にリーフレットやティッシュなどを配布しました。同運動は、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの改善更生について理解を深め、犯罪や非行のない地域社会を築こうとする全国的な運動です。



7/11

思いやりの大切さを学びました

釧路人権擁護委員協議会（小笠原寛会長）主催の「子ども人権教室」が虹別小学校で開かれました。同校で同教室を行うのは10年以上継続して開催されているため、東北北海道子ども人権委員長の舘岡穰さんと人権擁護委員の畠山典子さん、高澤俊一さんが来校し、釧路人権擁護委員協議会からの感謝状が手渡されました。人権教室では「人権かるた」や「ダイヤモンドランキング」でいじめや人権について学びました。



7/15

戦争犠牲者の冥福と平和を願って

標茶町戦争犠牲者追悼式が、コンベンションホールういずでしめやかに行われました。先の大戦で犠牲になられた多くの戦没者と戦争犠牲者を偲び、鎮魂の祈りを捧げて、恒久平和を願いました。



7/23

行政相談制度の理解を深めました

たんちょう大学は、行政相談出前講座をコンベンションホールういずで開催しました。行政相談制度は国や道、市町村などの行政全般に対する苦情や意見、要望を聞き、その解決を図る仕組みです。講座では、本相談がきっかけの標茶郵便局前の歩道との段差の改善事例などが紹介されました。

活躍が期待されます

7/17

標茶柔道スポーツ少年団が4月19日に釧路市で行われた釧根地区春季大会兼マ



ルちゃん杯北海道大会予選で小学生の部3位、中学男子の部準優勝、中学女子の部で優勝を飾り、7月27日に江別市で行われる第28回マルちゃん杯北海道少年柔道大会への出場を決め、その報告に役場を訪れました。選手を代表して森本和樹君は「先生たちに恩返しができるよう絶対に優勝して全国大会に行きたい」と活躍を誓いました。

7/22

7月末から8月にかけて行われる中体連全道大会に出場を決めた標茶中学校の選



手が、その報告のため役場を訪れました。全道大会に出場する競技は、陸上男女、卓球男女、柔道男女、バスケットボール女子で計33人が出場します。柔道男子個人に出場する加藤颯汰君（3年）は、「最後の中体連なので全力で挑みます」と全道大会へ向けての抱負を語ってくれました。

8/6

8月23～24日に東京武道館で行われる第54回空手道糸東会全国選手



権大会に出場を決めた北海道糸東会清澄館の皆さんが報告のため役場を訪れました。選手を代表して庄野克基さん（高校2年）は、「試合では練習の成果を100%発揮できるようにしたいです」と全国大会へ向けての抱負を語ってくれました。



8/1

野生大麻一斉に除去

釧路総合振興局と本町は「野生大麻ゼロ作戦」を町内5カ所を実施し、自生している大麻の除去作業を行いました。この日は北海道や標茶町防犯協会、地域住民ら約50人が参加し、草むらに生い茂る野生大麻を、抜き残しがないように確認しながら慎重に取り除き、次々とトラックに積み込みました。今回は1,150キロが駆除され、抜き取った野生大麻は全て焼却処分されました。



8/2

虹別オートキャンプ場夏まつり開催

毎年恒例の虹別オートキャンプ場夏祭りが開催されました。魚のつかみ取り体験では、子どもたちが特設プールに裸足で入り歓声を上げながら、手づかみで泳ぐ魚を追いかけて回しました。

ありがとうございます

7/30

あすなる道路東営業所（今敏次所長）は、コッタ口原野の下宿こすもす前から国道391号線までの約100mの区間の路面整備をしてくださいました。作業は砂利を搬入して、道路をならした後、転圧して表面を平らにさせていただきました。

